ネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワーク

下都賀地区生涯学習研究会機関紙　第４４号

ネットワーク

平成２８年１２月
発　行　下都賀地区生涯学習研究会
事務局　下都賀教育事務所ふれあい学習課内
Tel　0282-23-3422
Fax　0282-23-3502
E-mail
shimotsuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

いよいよ師走。流行語や１０大ニュース、今年の漢字など、一年をふり返る話題がメディアをとおして日々報じられています。年末年始の時期に少し心を落ち着かせながら、社会教育主事有資格者の視点で改めて今年一年の取組をふり返り、新年の抱負を得たいものです。

今号も会員の皆さまから、参考となる事例や情報、そして、社会教育主事有資格者としての「思い」をお寄せいただきました。紙上をとおして皆さんとつながりを深めていければ幸いです。

シリーズ「事例から学ぶ 50」

学校行事「栃商デパート」における地域連携

栃木県立栃木商業高等学校 教諭　粕谷　知之

本年も１１月３日の文化の日に、栃木商業高等学校最大の行事である「栃商デパート」が、４０００名以上の来校者を迎えて、盛大に開催されました。今年で第３０回目を迎えた「栃デパ」は、生徒が学校で学んだ成果を生かして行う「販売実習」であり、クラスごとに販売する商品を決定し、仕入れから販売、決算まで行っています。

しかしながら、「栃デパ」は販売のみを行っているわけではありません。近隣の保育園等と連携して子どもたちの作品を展示したり、野球部が少年野球教室を開催したりしています。また、県教委のジュニアキャリアアドバイザー事業として、高校生が先生となり、小・中学生にマナー等を教え、小・中学生が販売実習をする取組も行っています。さらに、ＰＴＡとも連携してバザー等も実施しています。そうした意味で「栃デパ」は「地域連携のデパート」となっています。このように１つの行事に多くの要素を加え学校全体で取り組むことで、個々の教員の負担が少なくなっています。その反面、年間を通した地域連携になっていない点が課題となっています。

【多くの来場者でにぎわう「栃商デパート」】

リレー「となりの社教主事 37」

まずは小さな一歩から

下野市立祇園小学校 教諭　熊倉　悠気

日が落ちて暗くなってから、教室に忘れ物をしたことに気付く…。多くの教員はそこで「やっちまった」と後悔する。私も「やっちまった」と後悔しながら夜の校舎を歩いている時、今回の企画が浮かんだ。『親子くらやみウォークラリー』だ。夜の校舎を歩き、キーワードを集めながら親子の絆を深めようというこの企画。実はこの企画の本当のねらいは「父親の協力」である。

本校は母親がＰＴＡ活動に参加する割合が圧倒的に多く、父親の参加が極端に少ない。父親をＰＴＡ活動に呼び込むこと、これが本校の課題である。そこで企画を父親に手伝ってもらい、ＰＴＡ活動への参加のきっかけとしてもらおうとなったのだ。企画は予想以上の大盛況。たくさんの親子が集まった。そして何より、多くの父親が協力してくれた。今回のこの企画は地域連携の小さな一歩、始まりだと考えている。そして、いずれ大きな波となって、地域を巻き込む一大事業になればと思っている。

ネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワーク

リレー「となりの社教主事 38」

原稿執筆の機会をいただいて

壬生町立安塚小学校 教諭　木村 真利子

尊敬する先輩教諭が社会教育主事として活躍されている姿を見て、先輩への憧れから、社会教育主事講習を受講する機会を与えていただきました。社会教育主事の役割や重要性について学び、教員という立場から何ができるのか、受講した先生方と熱く語り合った事を懐かしく思い出します。

今回、原稿掲載の機会をいただき、当時の講習の中で、学校に専任社会教育主事を配置することが、学校教育の可能性を広げ、大人も子供も互いに協力することによって相乗効果の幸せがもたらされるという話を拝聴したことを思い出しました。

学校と地域をつなぐ地域連携教員として、子どもの幸せのためにも、多忙な日々に追われ流されることなく、しっかり活動しなくてはと改めて噛みしめた良い機会となりました。

学校を応援したーい 10

小山中学校「おやじの会」

小山市立小山中学校 教諭　山本 英之

小山中学校「おやじの会」は、平成１７年度より、「小山中の再生と発展」をスローガンに、小山中学区の健全育成を目指し、教育活動に協力する組織として結成されました。当時、本校は対教師暴力や器物損壊など学校に荒れが生じていました。そこで、父親の役割をしている方（母親等）及びＰＴＡのＯＢ（賛同者）の方々が、地域の子どもたちに、「安心して学校教育を受けさせたい。先生方にこれ以上迷惑はかけられない。」という熱い思いからボランティアで協力してくださるようになりました。

最近の活動では、発足当時から行っている巡回警備の他に、運動会ではリレー参加、文化祭では、焼き鳥販売、成人式では、交通誘導など学校の応援者として活躍してくださっています。おかげ様で今では、地域の方にも愛される小山中生として、とても落ち着いた学校となって参りました。これからも自治力の高い生徒の育成を進めながら、地域・保護者・学校との密な連携協力により、さらに、学校を盛り立て、地域の宝である子どもたちを大切に育てていきたいと考えています。

【「おやじの会」の皆さん】

【文化祭での販売の様子】

第２回研修会報告

１１月１８日（金）、栃木市ニューアプロニーにおいて平成２８年度下都賀地区生涯学習研究会第２回研修会が開催されました。千葉大学教育学部特任教授の天笠 茂 先生を講師にお迎えし、「地域とともにある学校づくり～『社会に開かれた教育課程』の実現に向けて～」の演題で御講演いただきました。

参加者からは、「地域とともにある学校づくりのポイントは『中学校区で考える』こと、『教育課程の共有』という考え方は、なるほどと感じた。地域とともに歩む、そんな子どもたちを育てていきたいと思う。」といった感想が寄せられました。学校と地域の関係をどのように考え、関係づくりのための手段はどうあるべきかという課題解決への理解を深めることができました。

【第２回研修会の様子】

第３回研修会案内
（下都賀地区ふれあい学習ネットワーク）

日時　平成２９年１月１９日（木）
１３：３０～１６：１５

会場　栃木県庁小山庁舎 ４階大会議室
小山市犬塚３－１－１

講演「学校・家庭・地域の連携・協働
―これからの社会を創る子供たちへ
今、私たち大人ができること―」

講師　特定非営利活動法人 まちと学校のみらい
代表　竹原　和泉　氏

協議

協議には、下都賀地区各市町のボランティア支援センターの方なども参加予定です。今後の取組の契機としていただければと思います。

編集後記

先月は、久しぶりの地震速報に驚きました。54 年ぶりの１１月の大雪にも、慌てました。学校は、以前にも増して、地域とのつながりが必要となってきています。何かが起こった時には、必ず地域との協力が必要となります。何事もない時こそ、地域とのネットワークを大切にしたいです。皆様のご協力の下、ネットワーク 44 号が発行できることを、感謝申し上げます。　(M)

ネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワーク

情報交換“地域連携”

○地域連携ってどんなことをするの？
○会員同士で情報交換をしていきましょう！

「地域とともにある学校づくり」

小山市立小山第一小学校 教諭　神山　陽子

本校では、平成２７年度より、地域とともにある学校づくりに向けてコミュニティ・スクールの推進に努めています。お話会・農園・ミシン・珠算・しめ縄等の学習支援をはじめとするボランティアの方々が協力してくださっています。今回は、赴任して初めて分かった本校ならではの地道な活動について２つ紹介させていただきます。

１つ目は防犯パトロールに関する取組です。一斉下校を活用して、年２回「子ども避難所」にお願いとお礼のあいさつに伺います。登校班の班長がしっかりと下級生に手本を示し、一軒一軒、直接お会いできるまで何度でも全員そろって足を運びます。地域の方々の満面の笑みに、子どもたちの緊張は一気にほぐれ、皆、笑顔で帰宅します。

２つ目は、思川沿いにある「政光くん・寒川尼ちゃん」像の清掃です。４月１日の朝、初めて通ったときに「随分きれいだな」と感じたのはあたりまえ。こちらは、毎週金曜日の朝、６年生が交代で清掃するのが伝統です。なるほど…と納得もしましたが、毎週!?と驚いたことを今でもよく覚えています。行事が詰まっていて今日は無理というときなど、子どもたちがとても残念そうにしているのを見かけると、子どもってすごいなあ…と思わざるを得ません。

「コミュニティ・スクールは学校の応援団」を合い言葉に、学校と地域がそれぞれの強みを活かして協働していくことを目指し、小山一小は、今日も元気に活動しています。

【ミシンボランティア】

【子ども避難所へのお礼のあいさつ】

「地域の活性化・絆づくりの推進」

栃木市立大平南中学校 教諭　峯﨑 孝三

本校の地域連携教育では（１）学校と家庭、地域社会とが連携し、地域と絆を深め、開かれた学校づくりに努める。（２）生徒が地域ボランティアの方々と一緒に学習することで、社会性を育てることを目標に掲げています。

今年度は国語科書写の授業において、書道ボランティアの協力を得て生徒一人一人にきめ細やかに指導していただき、よい作品を作ることができました。また、「ふるさと学習」では、観光ボランティアの方に大平町の歴史について話していただき、生徒の関心を高めることができました。

先日行われた学校祭の和太鼓演奏では、ボランティアの熱心な指導により、とても立派な発表ができました。この発表にあたっては、８月から１０月の約２ヶ月間、生徒５０名に指導をしていただきました。和太鼓演奏をとおして地域の方と絆を深め、やがては地元のお祭りにも参加させていただくなど、生徒が地域に貢献できるようになることを期待しています。

また、昨年度より「学校から地域へ」という新しい取組を始めました。「クリーン活動」と名付け、今まで地域のボランティアに助けられていた生徒達がいつもお世話になっている地域に奉仕するという気持ちで活動しました。

学校の周辺の道路はもちろん、日頃使わせていただいている施設や公園の清掃美化活動を行いました。まだこの活動は始まったばかりですが、やがて地域の人々と一体となった活動になることを願っています。

【クリーン活動】

【和太鼓演奏の練習】

ネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワークネットワーク